

予防接種チェック表				
予防接種の種類		済んだものに ○	今後の予定	接種期間と接種回数
ロタウイルス	1回目			2回接種と3回接種の2種類があります。生後6週から接種でき、初回は14週6日までが推奨されています。4週間毎の接種で、2回接種のワクチンは生後24週、3回接種ワクチンは生後32週までに接種を完了します。
	2回目			
	3回目			
ヒブ	1回目			生後2か月から接種できます。標準的なスケジュールでは、4～8週間隔で3回、3回目から7か月以上あけて1歳すぐに4回目を接種します。初回の接種月齢・年齢によって接種間隔・回数が異なります
	2回目			
	3回目			
	4回目			
小児用肺炎球菌	1回目			生後2か月から接種できます。標準的なスケジュールでは、4～8週間隔で3回、生後12～15か月齢に4回目を接種します。初回の接種月齢・年齢によって接種間隔・回数が異なります
	2回目			
	3回目			
	4回目			
4種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	1回目			1期：生後2か月から接種できます。3～8週間隔で3回、3回目の約1年後（6か月後から接種可能）に4回目を接種します
	2回目			
	3回目			
	4回目			
BCG				生後11か月（1歳未満）までに1回接種します
MR（麻しん・風しん）	1回目			第1期：1歳代で1回接種できます。
	2回目			第2期：小学校入学の前年度の1年間に接種します
水痘	1回目			1歳から接種できます。
	2回目			1回目の接種後約3か月以上間隔で3歳までに2回目を接種します
日本脳炎	1回目			第1期：多くの地域では3歳からの接種ですが、流行地域では生後6か月からの接種が推奨されています。1～4週間隔で2回、2回目の約1年後に3回目を接種します
	2回目			
	3回目			
おたふく風邪	1回目			1歳から接種できます。1回目の数年後に2回目を接種します。任意接種です。
	2回目			
インフルエンザ (今までの接種歴を記入)				生後6か月以上で12歳まで（13歳未満）では2回ずつ接種します。10月ごろに1回目を接種し、2～4週間（できれば4週間）あけて2回目を接種します。毎年接種します。

* 日本小児科学会は就学前に3種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）と不活化ポリオワクチンの任意接種を推奨して

* 日本小児科学会は生後6か月～17歳のすべての小児に新型コロナワクチン接種（初回シリーズおよび適切な時期の追加接種）を推奨しています